

平成 24 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	重力波天体の多様な観測による宇宙物理学の新展開
領域代表者	中村 卓史（京都大学・理学（系）研究科（研究院）・教授）
研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、LCGT 計画（KAGRA）による重力波検出と連動し、重力波放出イベントを他の手段で観測するネットワークを準備することで、重力波天体の放射機構を解明しようとする研究提案である。重力波の検出は基礎物理学上の極めて重要な課題であり、本研究領域は、重力波天体研究において我が国が世界トップの地位を得るために必要な研究である。また、関連する要素技術を含めた研究の拡がりへの寄与も大きい。萌芽的な観測や理論のアイデアを加えていくという公募研究の位置づけも具体的である。重力波天文学のサイエンス自体に計画研究を有機的に連携させる動機と研究内容が存在し、また同時に、多様な観測手段を揃えることで天体のより豊かな描像を得ることが可能となる組織体制となっている。実績のある第一線の研究者からなる組織で、着実な成果が期待できる。</p>